

1998年1月22日

報道関係者各位

ノバルティス ファーマ株式会社  
ノバルティス地域医療賞委員会

## 第 五 回ノバルティス地域医療賞受賞者決定

昨年12月9日に行われましたノバルティス地域医療賞委員会におきまして、第5回ノバルティス地域医療賞の受賞者5名が下記の通り決定しました。受賞者には、1月22日東京のホテルオークラにおいて行われた贈呈式で、表彰状と記念楯、副賞として100万円が贈呈されました。

この賞は、住民に密着して医療活動に従事し、優れた功績をあげ、地域住民の保健衛生の向上のために著しく貢献された、日本医師会会員の方を顕彰することを目的に、1993年にCiba地域医療賞として設立されたものです。1997年4月に協賛会社の日本チバガイギーの医薬品部門とサンド薬品が統合し、ノバルティス ファーマ株式会社として発足したのに伴い、今回よりノバルティス地域医療賞に名称を変更いたしました。

### 記

<第5回受賞者>五十音順・敬称略

都道府県	受賞者	年齢	性別	功績タイトル
宮城県仙台市	さいとう かずお 齋藤 一夫	82 歳	男性	子宮がん・乳がん検診体制確立と老人対策活動
群馬県沼田市	つのだ つとむ 角田 勤	68 歳	男性	広範囲からなる地域の公衆衛生向上に精励して30余年
静岡県志太郡	みわ あつし 三輪 淳	81 歳	男性	地域に密着した保健衛生活動への取り組み
神奈川県小田原市	やまくち ただひさ 山口 肇久	68 歳	男性	包括的地域医療システムの早期実現に向けて
岐阜県岐阜市	わたなべ しげき 渡辺 茂樹	67 歳	男性	救急医療システム、在宅ケアシステムの構築

以上

- 添付資料：第5回受賞者の略歴と功績  
ノバルティス地域医療賞の経緯  
ノバルティス地域医療賞の規定  
ノバルティス地域医療賞委員会委員  
第1回～4回受賞者一覧

お問い合わせ先：  
ノバルティス ファーマ株式会社 広報グループ  
喜多 英人 TEL: 03-3797-8027 / FAX: 03-3797-4367

## ノバルティス地域医療賞の経緯

1993年、当時の日本チバガイギー株式会社は、日本医師会の協力を得て、Ciba 地域医療賞委員会（現：ノバルティス地域医療賞委員会）を設立し、地域医療に貢献されている日本医師会会員を顕彰する制度が発足いたしました。

この制度は、住民に密着して医療活動に従事し、優れた功績をあげ、地域住民の保健衛生の向上のために著しく貢献された医師会会員の方を顕彰するもので、名称は「Ciba 地域医療賞」とされました。

1994年に第1回の贈呈式を開催し、その後、毎年1回、5名ずつの先生方が受賞され、本年で25名の先生方に贈呈されることとなります。

なお、1997年4月に日本チバガイギー株式会社がサンド薬品株式会社と統合し、ノバルティス ファーマ株式会社となりましたので、日本医師会のご理解のもと「ノバルティス地域医療賞」と名称を改めました。なお、贈呈の回数につきましては、継続の形をとっております。

本賞の運営および受賞者の選考については、別紙のとおり、日本医師会の代表、学識経験者、ノバルティス ファーマ株式会社の代表者で構成されるノバルティス地域医療賞委員会が行います。

本賞の概要につきましては、別紙の「ノバルティス地域医療賞」の規定をご参照ください。

## ノバルティス地域医療賞委員会委員

### 有識者（2名）

阿部 正和 学校法人 慈恵大学 顧問  
東京慈恵会医科大学 名誉教授

小泉 明 産業医科大学 学長  
東京大学 名誉教授

### 社団法人 日本医師会（2名）

委員長  
坪井 栄孝 会長

石川 高明 副会長

### ノバルティス ファーマ株式会社（1名）

大澤 昭夫 取締役副社長

さいとう かずお  
齋藤 一夫 (82歳)

(昭和5年 東北帝国大学医学部卒業 宮城県医師会)

〒982 宮城県仙台市太白区長町4丁目3-38

[ 功績 ]

昭和0年の開業以来一貫して地域住民の健康管理と疾病治療に努め、特に「がん撲滅」活動では高く評価されている。1) 子宮がん制圧活動：昭和2年より日母宮城県支部の支援を得て子宮がん検診をはじめ、昭和5年には検診数00万件を達成した。また自身においても2年間で8,050人の検診を実施して89人の早期がんを発見した。2) 産婦人科医による乳がん検診：外科医会との折衝のもと、国内初の産婦人科医による乳がん検診を昭和6年より宮城県で開始、自身においても4,438人の検診をし、早期乳がん3人を発見している。3) 老人対策：老人の生きがい福祉対策として、市民大学講座、医師会、保健所、老人クラブ、婦人団体等の求めに応じて延べ00回以上の講演をしている。また、中高年対象にも「老後のあり方」を指導している。

[ 現職 ]

仙台市医師会裁定委員、宮城県医師会裁定委員

つのだ つとむ

## 角田 勤 (68歳)

(昭和3年 日本医科大学卒業 群馬県医師会)

〒378 群馬県沼田市坊新田町甲 1111

### [ 功績 ]

昭和8年沼田市にて開業、診療活動とともに、長年にわたり地域医療発展のために公衆衛生の啓発改善に努め、国民健康保険事業および学校保健事業に対する積極的な協力は多大であった。

救急医療対策においては、数年にわたる検討を重ね、地域関係機関の協力を取り、救急医療の確保および住民の健康保持の推進に尽力した。また、沼田市から利根郡までの広範囲の地域に合わせて、医師会独自の休日急患診療所の開設に貢献した。地域住民の健康増進には、広い地域にわたる検診事業をはじめ各種の公衆保健向上への貢献のほか、早くから老人等を対象とした健康教育に取り組み、地域住民の健康づくりに尽力している。医療を通じて社会的文化活動を5年間にわたり住民とともに推し進めている。

### [ 現職 ]

恵泉幼稚園医、沼田市役所産業医、沼田市立小学校医

みわ あつし  
三輪 淳 (81歳)

(昭和5年 大阪帝国大学医学部卒業 静岡県医師会)

〒421-11 静岡県志太郡岡部町内谷 60-2

[ 功績 ]

昭和4年に岡部町で開業以来、同町の予防・保健衛生活動に一貫して取り組んできており、保育園、小中学校の校医 園医として活躍。園医は現在も継続中である。開業時には、赤痢が流行したが、伝染隔離病舎の責任者として連日勤務し、多くの人命を救った。

現在は、特に痴呆老人対策に積極的に取り組み、1) 精神科医として特別養護老人ホーム2施設で痴呆老人の主治医ならびにリハビリ医として活躍、2) 全国に先駆けて昭和7年には痴呆性老人のショートステイを初めて導入し、在宅介護の安定した体制づくりを確立するとともに、3) 地域住民、看護人等を対象に、老年痴呆症の問題等の講話を定期的開催し、地域住民の福祉に貢献している。

[ 現職 ]

医療法人 三輪医院院長、福祉法人特別養護老人ホーム厚生生苑(静岡市)神経内科嘱託医、国保運営協議会委員(岡部町)、町立三輪保育園園医、福祉法人静岡厚生会厚生苑理事、福祉法人特別養護老人ホーム亀寿の郷(岡部町)理事

やまぐち ただひさ

山口 肇久 (68歳)

(昭和2年 日本大学医学部卒業 神奈川県医師会)

〒256 神奈川県小田原市酒匂大道西 1402-1

#### [ 功績 ]

昭和1年小田原市にて、地域医療の担い手として開業すると同時に、昭和8年には市医師会の中で、包括的地域医療システムの早期実現に向けて腐心してきた。

1) 保健医療計画策定協議会委員として、市の地域保健医療計画を完成させるなど、実績は他市町村にも促進効果を与え、二次医療圏内の2市8町の意見をも統括し、県西地区保健医療協議会の承認を得るに至った。2) 地域医学的リハビリテーションシステムの確立に、指導的役割を大いに発揮し、市保健センターに脳卒中患者 家族の悩みに対応する専門医による地域リハビリ調整室を開設するに至った。3) 市医師会代表として老人保健福祉計画策定に参画、完成に尽力した。4) 医師会訪問看護ステーションの発足に尽くし、運営にも努力している。氏は市医師会副会長退任後も地域における保健 医療 福祉連携システムの推進に尽力している。

#### [ 現職 ]

医療法人社団 山口医院院長、小田原市立富士見小学校校医

わたなべ しげき  
渡辺 茂樹 (67歳)

(昭和2年 大阪医科大学卒業 岐阜県医師会)

〒502-08 岐阜県岐阜市学園町 3-30-1

[ 功績 ]

昭和 47 年岐阜県医師会の地域医療担当常務理事として 25 年以上にわたり尽力。功績は、1)救急医療システム構築：医師会館内の中央救急医療センターと県下 24 の消防本部設置の地域医療情報センターおよび医療機関を端末機で結び、救急患者の搬送・受入れを迅速かつ的確に行い、患者への適正な医療と救命率の向上に寄与。2)在宅ケアシステム事業の構築：人口 13,500 人の各務原市をモデル地区として 24 時間体制の在宅ケアシステム構築を企画し、実施・指導。開業医同士が電話・FAX で情報交換することで、「かかりつけ医」不在の場合も別の医師による対応整備をはじめとし、在宅患者の情報をデータベース化し、地域内の医療機関、訪問看護ステーション等で共有することで支援体制を整備。現在、県下全域への拡大を目指して関係方面へ働きかけている。

[ 現職 ]

渡辺内科院長、岐阜県医師会常務理事、岐阜県救急医療情報システム運営委員会委員、岐阜県在宅ケア推進協議会委員、日本救急医学会東海地方会常任幹事、その他岐阜県の各種専門委員会委員や協議会委員・評価委員会委員等

ノバルティス地域医療賞 これまでの受賞者  
(五十音順・敬称略)

第1回

神奈川県	小川 武満
静岡県	北村 廉作
宮崎県	清永 恕
大分県	杉田 肇
大阪府	橋本 博

第2回

東京都	塚部 祥生
島根県	花田 カズ
京都府	原 治
宮城県	堀田 廣行
茨城県	室生 勝

第3回

群馬県	織田 敏郎
岐阜県	黒岩 翠
岡山県	福島 功
愛媛県	藤原 寿則
大阪府	保坂 智子

第4回

京都府	伊藤 盛夫
宮城県	庄司 眞
埼玉県	鈴木 邦明
東京都	徳光 裕子
鹿児島県	牧角 仙丞